

【事例15】 工賃向上に向けた取組

施設名	障害者就労支援事業所 いもや（行方市四鹿）		
設置者	一般社団法人 いもや		
定員	20名		
利用者数	21名		
平均月額工賃の推移 （ ）は旧計算式	R3：42,728円	R4：42,262円	R5：46,477円 (42,581円)
主な作業内容	農作物の栽培、施設外就労（農福連携）		

工賃向上に向けたアドバイス

■ 「高単価の農作物の栽培」「高収益の作業」に取り組むこと

- ・ 落花生など「高く売れて儲かる野菜」のほか、ジャガイモなど「生育期間が短く、収穫量が確保できる野菜」を中心に栽培
- ・ 行方市は全国有数の「サツマイモ」の産地
⇒収益性が高い「サツマイモ」に関する施設外就労（例：苗植えや収穫作業など）を請け負うことで高工賃を確保



行方市では「さつまいも課」を設置し、サツマイモに関する相談や要望等にワンストップで対応している
（写真はともに行方市さつまいも課 公式ホームページより
<https://satsumaimoka.com/>）

その他

- ・ 地元の方々に事業所の取組を知ってもらい、主に口コミで販売先を広げている
- ・ 利用者は希望や体力等に応じて「外部作業班（野菜の収穫や施設外就労）」と「内部作業班（建物内で出荷準備や袋詰め作業）」に従事
- ・ 暑さ対策は、体調に応じた自由な休憩時間の取得や、施設内作業への変更など柔軟に対応
- ・ 「冬至に食べるカボチャ」も売値が高いことから、今後栽培に向けて取り組みたい農作物



苗の袋詰め作業

施設外観



外部作業班の様子①



(茄子の農薬散布)

外部作業班の様子②



(ハウス内でサツマイモ苗の片付け)

内部作業班の様子①



内部作業班の様子②



(収穫した野菜へのシール貼り)

内部作業班の様子③



(収穫したジャガイモについた土のふき取り)